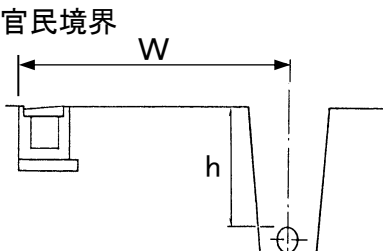
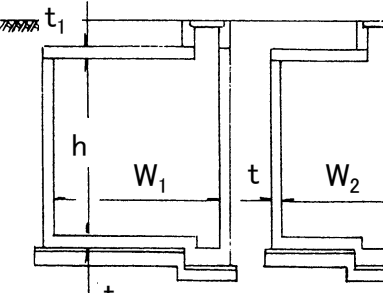
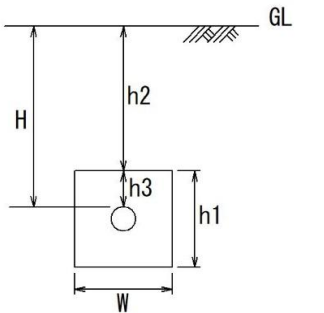


出来形管理基準及び規格値

【管布設工事】

※管布設工事において、次表の工種に記載のない場合は、土木・構造物工事の工種を使用すること。

単位：mm

工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
管の据付	延長 L (単位：m)		±0	●旗上げ毎の区間長（整数止めとし、小数点以下切り捨て） ●出来形総括表及び設計平面図に実測値を記入（設計平面図には赤色）し、設計値と対比。（出来形管理図表は不要）			
	占用位置 W		±30	●40mまたは測点毎 ●土被りは、国の通達(H11.3.31付け建設省道政発第32号、建設省国発第5号)の値を下回ってはいけない。			
	土被り h		±30				
弁栓類・鉄蓋の据付 (土留類) (砕石基礎工)	仕切弁設置 (スピントル位置)		センター～±30	●全ヶ所測定 [路面復旧完了後]			
	消火栓(単口・双口)設置 (基準位置またはスピントル位置)						
	空気弁付消火栓設置 (スピントル位置)						
	空気弁設置						
	路面との段差		段差が無いこと				
	基礎	辺長 (径)	設計値以上	●全ヶ所測定			
		厚さ	－30				
弁室その他の構造物 (コンクリート) (砕石基礎工) (均しコンクリート)	弁室 (現場打)	壁 厚 t	-20	●全ヶ所測定			
		床版厚 t1	-20				
		底版厚 t2	-20				
		内空幅 W1, W2	-30				
		内空高 h	±30				
	基礎	辺長	設計値以上				
		厚さ	－30				
管防護工 (コンクリート) (砕石基礎工) (均しコンクリート)	幅 W		-30	●全ヶ所測定 ●体積は設計値以上とする。			
	高さ h1						
	辺長						
	土被り h2		-20				※hが設計値より小さい場合は、コンクリートの大きさについて発注者に確認すること。
	管天～防云天端 h3						
	基礎	辺長	設計値以上				
		厚さ	－30				
推進工	基準高		±30	●発進坑、到達坑で測定。			
	中心線の偏位		左右±50	●20m毎に測定。推進延長が20m以下の場合は、任意で2ヶ所測定。			
	管底高		±50	●20m毎に測定。推進延長が20m以下の場合は、両端で測定。			
シールド工(一次覆工)	管底高		±50	●5リング毎に測定。			
	中心線の偏位		左右±100				

※hが設計値より小さい場合は、コンクリートの大きさについて発注者に確認すること。